

楡は枯れず

(昭和五十五年寮歌)

新井桂二君 作歌
奥田和人君 作曲

北に生まれし者たちよ

北に出会ひし者たちよ

北に奢れる者たちよ

北に歌える者たちよ

永遠に祈りし朝は未だかなわす

百年に織りたる衣は当に引き裂かれんとす

嗚呼願わくば二度糸を紡ぎて

限りなく澄みわたる穹北の空に舞わん

一

朝靄けむる今ひとときの

熟寝の夢の幸せよ

覚めて現に見渡せば

美は崩れゆく北都なり

天空常に雲抱けども

楡は萌えて大地をまねく

二

清冽の野に道を耕し

荒野に明日を信じつつ

彷徨い行ける寂しさに

陽は傾きて我を見る

虚いゆける時にこそ

楡は映えて風を斬る

三

北の自然は蝕ばまれゆき

青葉の降るや青春の寮庭

忘るるなかれ大願を

胸に秘めし涙痕を

時は人とは変われども

楡は枯れず空をさす